

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 4年 月 日

大阪府知事 殿

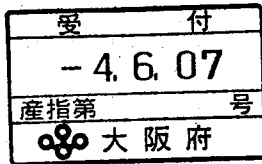
提出者

住 所 大阪府交野市私市2丁目24番1号

氏 名 交野市水道事業管理者職務代理者
水道局長 藤井 大史

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 072-891-0016



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	交野市水道局 星の里浄水場
事業場の所在地	大阪府交野市私市9丁目6番1号
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	36：水道業
②事業の規模	浄水処理量：5,928,070 m ³ /年
③従業員数	10人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	—
	排出量	2666 t	— t
	（これまでに実施した取組） ・洗浄排水処理工程において凝集剤注入量の見直しや機器の清掃を行い、洗浄排水の分離効率を高めて減量化した。（上水汚泥） ・浄水処理工程において凝集剤注入量を見直し、洗浄排水の分離効率を高めて減量化した。（上水汚泥） ・浄水処理量が前年度と比較して大幅に増加したため、排出用が増加した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	—
	排出量	2650 /t	— t
	（今後実施する予定の取組） ・上記内容の継続。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特になし。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特になし。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	（これまでに実施した取組） 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	（今後実施する予定の取組） 特になし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2504 t	- t
（これまでに実施した取組） ・汚泥脱水機の消耗部品を交換し、汚泥の脱水効率を高めた。（上水汚泥）			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2490 t	- t
（今後実施する予定の取組） ・上記内容の継続。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 特になし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

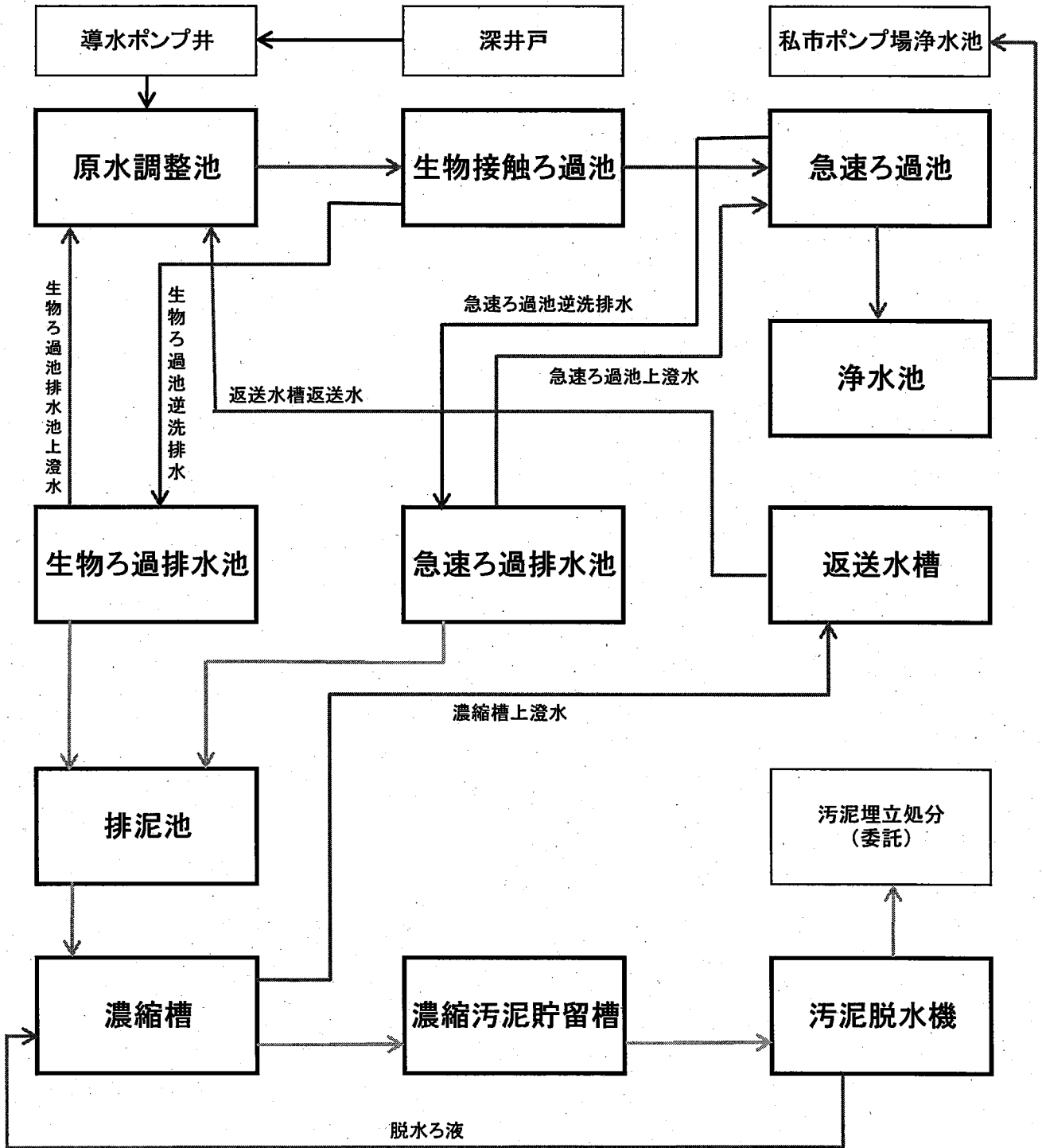
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	—
	全処理委託量	162 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 特になし。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	—
	全処理委託量	160 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「－」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

交野市水道局 星の里浄水場 汚泥発生工程フローシート



凡例

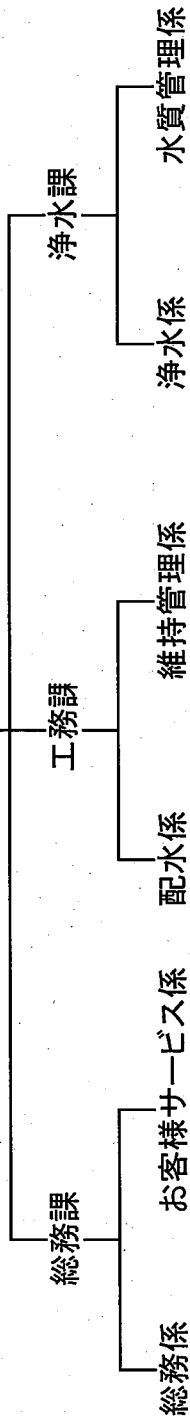
—— 原水
 —— 浄水処理経路

—— 排水処理経路
 —— 排水処理経路(上澄水)
 —— 汚泥処理経路

交野市水道局組織図及び各部著業務内容（令和4年4月）

水道事業管理者(職務代理者) ※水道局長兼務

(水道局長)
水道局次長



主な業務内容

- ・総務係
 - ・予算・決算書の調製、庁舎の保全・管理、資産の取得・処分、入札関係
 - ・お客様サービス係
 - ・開・閉栓の手続き、水道料金の徴収、口座振替の手続き関係
- ・配水係
 - ・上水道管の整備計画・設計施工関係
- ・維持管理係
 - ・水道管路の維持管理・修繕、給水の確保関係
- ・浄水係
 - ・浄水処理、浄水施設関係
- ・水質管理係
 - ・水質管理関係